

満月

木々朗

仲秋の明月よろず照らしけり  
満月に供えの品は団子かな  
天高し木の日に集う木場公園  
菊の香や木にふれあいの心意気  
山の辺に群れなす銀波芒の穂

雑詠 木と暮しのふれあい展

細田 安治

天仰ぎ 木の日そわそわ 落ち着かず  
数えれば 三十七回 木の集い  
大雨に 丸太担いで 第一回  
雨歓迎 一雨ごとに 木は育つ  
大勢の力を 見せた 木の祭典  
未来の子 トンカチのこぎり 頼もしや

